



渡島地方本部ニュース

発行
自治労渡島地方本部
執行委員長 川村 哲也
〒041-0806
函館市美原4-6-16
TEL 0138-34-2357
FAX 0138-34-2358

白球を追う・・・夢の続きは 知内町役場職員組合・・・全国野球優勝大会ベスト8



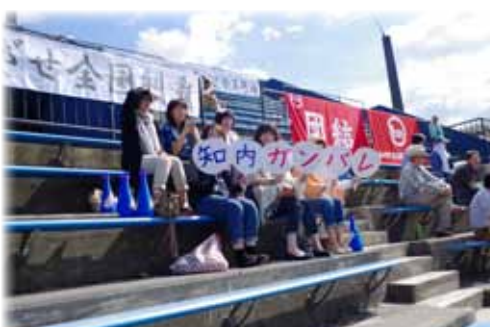
知内町役場職員組合VS高松市職員連合労働組合



知内町役場職員組合・エース阿部投手



知内町役場職員組合・応援団



知内町役場職員組合・女子応援団

全日本自治体職員等野球選手権全国優勝大会が9月4日(木)から7日(日)まで、札幌市・江別市の4球場で開催された。北海道の代表は開催地枠で札幌市役所職員組合連合会、今年全道野球大会優勝の北広島市職員労働組合、準優勝の白糠町役場職員組合、そして昨年度全道野球大会で優勝を果たした、渡島管内の「知内町役場職員組合」の4チームが全国自治体職員等野球大会の頂上をめざし、熱いたたかいが繰り広げられた。

知内町職はシード枠にエントリーされ、大会2日目の第1試合、江別市野幌硬式野球場で試合が行われ「熱いたたかいの火ぶた」が切られた。

当日は、知内町から町長ならびに職員等は、総勢20人の応援団を結成し、バスや個人の車で朝4時30分に知内町を出発、一路決戦の江別市野幌硬式野球場へ向かう!

渡島地本としても、初めて組織内単組が全国野球優勝大会への出場を果たしたこともあり、各単組・総支部を代表し、川村委員長をはじめ、柴田書記長・高島書記次長が朝5時に函館を出発し、知内町職の応援に向かった。

初戦(2回戦)の対戦相手は、前回の準優勝、強豪、高松市職員連合労働組合(香川県)に初回、知内町職は相手投手の立ち上がりを攻め、2つの内野安打と四球でノーアウト満塁の絶好の先制のチャンスをつかみ、4番がきっちりレフトへの犠牲フライで1点を先制する。

一方、高松は3回裏に先頭打者がセンター前のポテンヒットと守備の乱れもありノーアウト2塁とし、2つの内野安打で1点を返すが、その後は知内町職のエース阿部のふんばりもあり、同点どまりとする。

知内は5回表、先頭打者がレフト前ヒットで塁に出て、送りバントでランナーを2塁に進め、2本のヒットと相手のエラー、さらに四球などで一挙3点をあげ、4対1とリードを広げ、試合の主導権をにぎる。

その後、両投手の投げ合いとなり、最後回はエース阿部の力投と応援団の熱い声援で3点のリードを守り切り、全国野球優勝大会での初勝利をチーム知内一丸でつかみ取る。